

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本指圧専門学校	昭和56年4月1日	石塚 寛	〒112-0002 東京都文京区小石川2-15-6 (電話) 03-3813-7354			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 浪越学園	昭和62年4月1日	浪越 和民	〒112-0002 東京都文京区小石川2-15-6 (電話) 03-3813-7354			
目 的	諸法令に基づき、多様化する現代の医療ニーズに応え、医療現場で求められる指圧師に必要な知識、技能を専門性の高いカリキュラムにより修得させることを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門 課程	指圧科	3年 (夜)	2415単位時間 (又は77単位)	文部省告示第七号 (平成7年1月23日)	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1500単位時間 (又は56単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	45単位時間 (又は1単位)	600単位時間 (又は20単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	173人	14人	15人	29人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 単位・進級・卒業を認定するため、 定期試験の成績及び出席状況等を 考慮し総合的に成績評価を行う。	
長期休み	■夏 季：7月28日～8月22日まで ■秋 季：9月24日～9月30日まで ■冬 季：12月21日～翌年1月7日まで ■春 季：3月10日～4月			卒業・進級条件	進級の認定は、年間授業日数の4/5 以上出席、年間平均点60点以上、未 取得単位4単位以下、学費を納入して いることが条件。全ての単位を取得し た者に対して、模擬試験および到達度 試験等の結果を総合的に判断して、卒 業を認定する。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話対応、家庭訪問、保証人との連絡、 御家族との相談等。			課外活動	■課外活動の種類 指圧研究会、修練会、野球部、 オイルマッサージ部等。 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 施術所、各種福祉施設、病院・診療所等。 ■就職率 <sup>*1</sup> 88% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 89% (平成26年度卒業者に関する平成27年5月時点の 情報)			主な資格・検定	国家資格(あん摩マッサージ指圧師) 機能訓練指導員。 ケアマネージャーの受験資格。	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 1.7%</p> <p>平成 27年 4月 1日在学者 176名 (平成 27年 4月入学者を含む)  平成 28年 3月 31日在学者 173名 (平成 28年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由  近親者の介護、学業困難、経済的事由、心身諸事由等。</p> <p>■中退防止のための取組  スクールカウンセラー制度の実施、担任による面談の実施、個別指導等。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.shiatsu.ac.jp">www.shiatsu.ac.jp</a></p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

昨今の医療を取り巻く環境は、急速に進む少子高齢化、罹患する疾病構造の変化などを受けめまぐるしく変化している。それに伴い、医療現場においてあん摩マッサージ指圧師に求められるニーズも多様化しており、閉鎖された学校教育ではそのニーズを把握することが困難を極めていく状況といっても過言ではない。今後の学校教育において、多様化するニーズに応えるべく、連携する企業等からの情報提供に基づき、医療現場の動向（人材の専門性の動向、産業振興の方向性、実務において必要と思われる知識・技術・技能等）を把握し、卒業後、即戦力として活躍できる人材の教育を視野に入れ、授業科目および内容の改善に役立てることを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月1日現在

名前	所属
鈴木 康尊	(株)ベルウッド
黒田 智枝	一般社団法人 日本指圧協会
満留 伸行	指圧マッサージ 指愈 - Y u b i y u
大崎 益弘	訪問マッサージ スマイル
黒沢 純一	日本指圧専門学校 教務課長

(開催日時) 平成27年度

第1回 平成27年10月27日 15:00~16:30

第2回 平成28年2月16日 15:00~16:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するニーズに応える人材を育成するためには、形式的な授業や実技・演習を行うだけではその教育効果には限界があると考えられる。起こった事象に対して速やかに対応できる臨床力を身につけることが現場で通用するあん摩マッサージ指圧師の養成には必要不可欠である。当校では、臨床経験の抱負なあん摩マッサージ指圧師に実技を担当させ、臨床現場で多く遭遇する疾患に対しての病態把握および治療方法を学習することにより、臨床力の向上を目指している。また、卒業後速やかに現場で通用する対応力を身につけるよう指導している。

	科目概要	連携企業等
基本指圧実技	適切な指圧施術が出来る能力を修得するため、指圧施術の基礎を学習する。	指圧院サンテ
応用指圧実技	臨床現場を意識した身体分析力を身につけ、患者に適したあん摩マッサージ指圧施術ができる能力を修得するため、応病操作などについて学習する。	江戸川橋指圧センター

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針) 多様化するニーズに応える人材育成を目的とする教育を行うためには、教員自身が専門性の高い知識および技術力を習得することが求められる。当校における専門性とは、高い水準の医学知識および臨床能力を指す。そのため、研修規定により、学内および学外研修、自己啓発等を定めている。特に学外研修においては、大学医学部等の教育機関へ教員を派遣し研修等を実施するよう努めている。また、臨床における実技指導力向上の観点から、各業界団体や学術団体等が主催する研修等を活用している。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
鈴木 啓太	クウマ、企画業、指圧業
中野 善光	快圧・養生・SHIATSU
小野 悠一	悠指圧治療院
田中 功	和 指圧院
立部 正則	一般社団法人 日本指圧協会
田中 恵一	有限会社 大黒屋

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.shiatsu.ac.jp](http://www.shiatsu.ac.jp)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [www.shiatsu.ac.jp](http://www.shiatsu.ac.jp)

授業科目等の概要										
(医療専門課程指圧学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			心理学	良好な人間関係を築く上で必要な人間性を養うために、心の仕組みや働きを理解する。さらに、その理解をもとに臨床場面でどのように応用できるかを学習する。	1 (前)	30	2	○		
○			社会福祉学	わが国における社会福祉を含む社会保障制度の概要の理解し、福祉支援を必要とする人々（特に障害者）の状況や支援内容、また支援者の倫理観について学習する。	1 (後)	30	2	○		
○			生化学	生体が必要とする物質を理解し、摂取された物質がどのように代謝され、利用されて行くのかを生化学的な観点から学習する。	1 (後)	30	2	○		
○			栄養学	患者に合わせた食事指導・情報提供ができるようになるため、生活習慣と食物・栄養に関わる基礎知識、また様々な食事パターンを学ぶ。	2 (後)	30	2	○		
○			生物学	生命現象の多様な局面を知り、その現象が生ずるメカニズムと生物学的意義を理解する。多様な生物の存在を知り、それら多様な生物と比較することにより、生物としてのヒトの特殊性を理解する。	3 (前)	30	2	○		
○			保健体育	安全・健康についての総合的な認識を深め、健康を適切に管理し改善していくため、自ら考え、判断する力をつける。	1 (通)	60	2	○		
○			英語	海外で、また、日本で外国の方を対象に施術をする際に役立つ英会話表現を学習する。	1 (前)	30	2	○		
○			解剖学Ⅰ	人体諸構造の基礎知識を体得するため、細胞・組織・器官・臓器レベルから骨、靭帯、筋、内臓器を学習する。	1 (通)	180	6	○		
○			解剖学Ⅱ	人体諸構造の基礎知識を理解するため、骨学、筋学、消化器、呼吸器、泌尿生殖器、内分泌器を学習する。	3 (前)	30	1	○		

○		生理学Ⅰ	人体の正常な機能を理解するため、神経、筋、運動、感覚、血液、循環、呼吸、消化吸収、内分泌を学習する。	1 (通)	120	4	○		
○		生理学Ⅱ	人体の正常な機能を理解するため、自律神経、体温、排泄、栄養、代謝を学習する。	3 (後)	30	1	○		
○		運動学	動物の生存の根幹をなす運動について、身体の構造と機能との関係や運動理論を理解し、運動障害の分析ができるようにする。	2 (前)	30	1	○		
○		衛生学・公衆衛生学	医療従事者として必要な社会保障制度、環境衛生、感染症、消毒法などの基礎的な知識を身につける。また、予防医学の考え方について学習する。	2 (通)	60	2	○		
○		病理学	生体において、正常な状態が病気になるとどのように変化するのかを理解するため、循環障害、炎症、アレルギー、腫瘍、先天性異常について学習する。	2 (通)	60	2	○		
○		臨床医学総論	疾患に対する現代医学的な捉え方を理解するため、臨床検査、神経系診察法、医療面接などを学習する。	2 (通)	90	3	○		
○		臨床医学各論Ⅰ	医療従事者として身につけておくべき医学・医療の基本を理解するため、整形外科疾患、感染症、消化器疾患、循環器疾患、内分泌疾患、栄養代謝疾患、血液疾患について学習する。	2 (通)	90	3	○		
○		臨床医学各論Ⅱ	医療従事者として身につけておくべき医学・医療の基本を理解するため、リウマチ性疾患、神経疾患、外科感染症、婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患について学習する。	3 (通)	60	2	○		
○		リハビリテーション医学	障害の捉え方や評価法、回復について理解するため、関節評価法、理学療法、脳卒中のリハビリテーション、脊髄損傷のリハビリテーションについて学習する。	2 (通)	60	2	○		
○		医療概論	現代医学の基礎になっているヨーロッパ医学の歴史を通し、病気に対する考え方の変遷を理解する。また、日本の医療制度の今日的課題について考え、医療倫理について学習する。	1 (前)	30	1	○		
○		関係法規	日本の医療福祉制度におけるあん摩マッサージ指圧師の法的根拠、位置づけを理解するため、あん摩マッサージ指圧師等に関する法律について学習する。	3 (後)	30	1	○		

○		東洋医学概論	あん摩マッサージ指圧施術をする上で必要な東洋医学の基本理念を把握するため、五行論、臓腑論、病因論などについて学習する。	2 (通)	60	2	○		
○		経絡経穴概論	あん摩マッサージ指圧施術をする上で必要な経絡流注や経穴、要穴の取穴法などについて学習する。	3 (前)	30	1	○		
○		あん摩・マッサージ指圧理論	あん摩マッサージ指圧による刺激が生体にどう作用し、どのような治療効果が期待できるのかを理解するため、関連する学説について学習する。	3 (通)	60	2	○		
○		浪越指圧理論	学んだ医学知識を臨床に役立てる力を身につけるため、浪越指圧の基本圧点と解剖学の関連性について学習する。	1 (後)	30	1	○		
○		臨床指圧総論	指圧施術の指圧点を正確に捉えられるようになることを目的として、指圧点と筋の触察法などを学習する。	2 (通)	60	2			○
○		臨床指圧各論	臨床的な指圧操作を学び、様々な疾患への対応ができる力を育成する。	3 (後)	60	2			○
○		東洋医学臨床論	患者から得られる所見により施術適応の可否を判断し、あん摩マッサージ指圧施術を行うまでの病態把握、鑑別法を学習する。	3 (通)	120	4	○		
○		地域・経営	あん摩マッサージ指圧師を取り巻く社会・地域環境を理解し、必要とされる専門職業人とはどんな人物かを学習する。	3 (通)	60	2	○		
○		基礎指圧実技	適切な指圧施術が出来る能力を修得するため、指圧施術の基礎を学習する。	1 (通)	180	6			○
○		あん摩・マッサージ指圧実技	適切なあん摩マッサージ施術が出来る能力を修得するため、あん摩施術、マッサージ施術を学習する。	2 (通)	90	3			○
○		臨床実習	教員指導の下、患者の状態に適したあん摩マッサージ指圧施術の治療方針を立て、適切な施術ができる臨床能力を修得する。	3 (通)	45	1			○
○		応用指圧実技 I	基礎の再確認、応用操作の修得を目的とし、疾患を持った患者への施術法を学習する。	2 (通)	90	3			○

○		応用指圧実技Ⅱ	臨床現場を意識した身体の分析力を身につけ、患者に適したあん摩マッサージ指圧施術ができる能力を修得するため、応病操作などについて学習する。	3 (通)	120	4			○
○		課題研究	学習してきた解剖学を基盤として、課題に取り組み、総合的な知識を修得する。	3 (後)	30	1	○		
○		解剖学実習：特別講義：学校行事			270				
合計			34 科目	2415 単位時間 ( 77 単位)					